

## 【第39回住まいのリフォームコンクール】 国土交通大臣賞などの受賞決まる

住まいのリフォームコンクールは「公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター」の主催により、住宅リフォームの普及促進とリフォームの水準向上を図ることを目的として、全国各地で施工された住宅リフォーム事例を募り、住まいとして優秀な事例について表彰し、これを消費者や事業者に広く紹介するもので、昭和60年度より毎年実施しています。

リフォーム前後がともに住宅である作品を募集する[住宅リフォーム部門]と、住宅以外の建物を住宅として再生したものや、住宅を住宅以外に用途変更した活用事例を募集する[コンバージョン部門]の2部門にて開催し、6月30日の応募締切までに、[住宅リフォーム部門]に306件、[コンバージョン部門]に22件の応募が寄せられました。

「住まいのリフォームコンクール審査委員会」(委員長:松村秀一 東京大学大学院特任教授)による審査の結果、下記の上位賞6作品を含む入賞26作品を選定しました。また入賞作品の設計や施工に関わった増改築相談員やマンションリフォームマネジャーには奨励賞を授与いたします。

表彰は、10月15日(土)に行われる住生活月間中央イベント合同記念式典(北海道札幌市)において国土交通大臣賞の授与、また、10月26日(水)に当財団主催による表彰式を執り行います。10月27日(木)・28日(金)には、展示会『Japan Home & Building Show 2022』(東京ビッグサイト)において、上位賞の作品発表会を開催いたします。

### ■上位賞作品■

賞名	タイトル及び設計者・施工者	所在地	所有・建方形式 /構造
国土交通大臣賞 【住宅リフォーム部門】	木の家は木で治す。土壁の家は土で治す。府中の家 設計:トヨタヤスシ建築設計事務所 施工:(株)建築工房en	和歌山県 和歌山市	持家一戸建 /在来木造
(独)住宅金融支援機構 理事長賞 【住宅リフォーム部門】	金石町家つなぎプロジェクト 設計:北村陽子けんちくアトリエ 施工:(株)夢工場	石川県 金沢市	持家一戸建 /在来木造
(公財)住宅リフォーム・紛争 処理支援センター理事長賞 【住宅リフォーム部門】	管種の異なる共用部分の全排水管の一斉樹脂化を 通じた長寿命化への試み 設計・施工:野村不動産パートナーズ(株)	東京都 大田区	持家共同建 /鉄骨鉄筋 コンクリート造
(一社)住宅リフォーム推進 協議会会長賞 【住宅リフォーム部門】	子供も猫たちものびのび。減築で叶えた「優良」の住まい 設計・施工:住友不動産(株)	北海道 札幌市	持家一戸建 /在来木造
(一社)住宅瑕疵担保責任 保険協会会長賞 【住宅リフォーム部門】	世田谷オアシス 一陽光を招くルーフバルコニーで、癒しの家へー 設計・施工:(株)東急Re・デザイン	東京都 世田谷区	持家一戸建 /在来木造
セカンドライフのための DIYコンバージョン特別賞 (分野別特別賞) 【コンバージョン部門】	DIYブックカフェ“underneath the tree” 設計・施工:喜多ハウジング(株)	石川県 金沢市	持家一戸建 /鉄筋 コンクリート造

入賞作品は、10月15日(土)・16日(日)に、住生活月間中央イベント展示会場(北海道札幌市)においてパネル展示される他、全国で開催される住宅関連のフェアやセミナー等においても展示が行われる予定です。財団ホームページにおいても掲載されます。

### <問い合わせ先>

公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター リフォーム情報部業務課 岡田、野村  
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル3階  
TEL: 03-3261-4567 FAX: 03-3261-9357 ホームページ: [https://www.chord.or.jp/chord\\_official/](https://www.chord.or.jp/chord_official/)

## 第39回住まいのリフォームコンクール入賞者一覧

### ■優秀賞作品■

#### 【住宅リフォーム部門】

タイトル	設計者	施工者	所在地	所有・建方形式	構造
都市型戸建のこれからを考える	(株)アートアンドクラフト	(株)アートアンドクラフト	兵庫県神戸市	持家一戸建	鉄骨造
窓際を心地よく〜築43年を継ぐ〜	(株)アルティザン建築工房	(株)アルティザン建築工房	北海道札幌市	持家一戸建	在来木造
スカイトレイン	SQOOL一級建築士事務所	東邦家具(株)	兵庫県神戸市	持家共同建	鉄筋コンクリート造
あいまいな境界に住む。	一級建築士事務所 平野建築設計室	スタジオダイワ(株)	愛媛県新居浜市	持家一戸建	在来木造
住み継ぐための再構築 ー2つの生活を持続可能とする増築の提案ー	宇津奏子建築設計事務所	(株)e-WILL	東京都新宿区	持家一戸建	その他
まんなかのある家	岡 慶一郎	(株)セットアップ	東京都江東区	持家共同建	鉄筋コンクリート造
地産地消 ～妻に捧げるリノベーション～	(株)OKUTA	(株)OKUTA	埼玉県所沢市	持家一戸建	在来木造
介護に向き合う これからの時代に提案したい間取り	(株)OKUTA	(株)OKUTA	東京都八王子市	持家共同建	鉄筋コンクリート造
未来の可視化 ー新築マンションのバリューアップー	カガミ建築計画(株) +(株)田口建設	(株)田口建設	東京都港区	持家共同建	鉄筋コンクリート造
住まいの在り方 ～明治から令和へ～	喜多ハウジング(株)	喜多ハウジング(株)	石川県羽咋市	持家一戸建	在来木造
スケルトン分譲 [高輪台テラス] ー各建築を集合住宅へ	駒田建築設計事務所	栄伸建設	東京都品川区	持家共同建	鉄筋コンクリート造
引戸の家	鈴木将記建築設計事務所	東協建築(株)	千葉県市川市	持家共同建	鉄筋コンクリート造
自然にふれあいながら子供達の創造性を膨らます為に 考えたリフォーム	住友不動産(株)	住友不動産(株)	福岡県糸島市	持家一戸建	在来木造
未来へと送った息子の思い。～庭が繋いだ親子の絆～	(株)土屋ホームトピア	(株)土屋ホームトピア	京都府亀岡市	持家一戸建	在来木造
ロードバイクのある家	永峰昌治建築設計事務所	石原工務店(株)	神奈川県 小田原市	持家一戸建	在来木造
Ring on the Green ー風と光が抜ける緑に囲まれた家ー	HAMS and, Studio	ROOVICE	東京都世田谷区	持家共同建	鉄筋コンクリート造
覚王山の家 ～木の勾配天井を持つ都市の空に浮かぶ平屋	(株)マスタープラン ー級建築士事務所	(株)N. style建築工房	愛知県名古屋	持家共同建	鉄骨鉄筋コンクリート造
めもりの家 ～過去の記録や記憶を生かし、新たな生活を加える～	(株)山本嘉寛建築設計事務所	(株)青山工務店	奈良県奈良市	持家一戸建	在来木造

#### 【コンバージョン部門】

タイトル	設計者	施工者	所在地	所有・建方形式	構造
主計町ism(移住む)	喜多ハウジング(株)	喜多ハウジング(株)	石川県金沢市	持家連続建	その他
憧れの鎌倉で戸建住宅をコンバージョン ～古き良き ヨーロッパの街並みに佇むようなレストランへ～	三井デザインテック(株)	三井デザインテック(株)	神奈川県鎌倉市		ツーバイフォー

### ■奨励賞■

タイトル	賞名	会社名	氏名
未来へと送った息子の思い。～庭が繋いだ親子の絆～	増改築相談員奨励賞	(株)土屋ホームトピア	高宮 和也
未来の可視化 ー新築マンションのバリューアップー	マンションリフォームマネジャー 奨励賞	カガミ建築計画(株)	各務 謙司
管種の異なる共用部分の全排水管の一斉樹脂化を通じた 長寿命化への試み	マンションリフォームマネジャー 奨励賞	野村不動産パートナーズ(株)	栗原 千朗
未来の可視化 ー新築マンションのバリューアップー	マンションリフォームマネジャー 奨励賞	カガミ建築計画(株)	前田 幸矢

# 第39回住まいのリフォームコンクール

## 国土交通大臣賞 受賞作品

「木の家は木で治す。土壁の家は土で治す。府中の家」

設計者:トヨタヤスシ建築設計事務所

施工者:(株)建築工房en

### Before



### After

老後を夫婦2人で快適に暮らすために、大きな家を区画断熱した住まい



### 外観

広縁をリビングと一体化させ、ウッドデッキを設けることで、庭と繋がる暮らしに変わった。既存の樹木や灯籠を生かし、外観も旧家の趣きを残す形で改修した。ポーチの手洗いは、妻が戻って来た時やヘルパーさんが来た時に使用する。

### リビング



バリアフリーで車いすでも家族と集える、陽だまりのリビング。カーテンを閉めればなして物置と化していた広縁が、くつろげる居場所になった。左の窓は、気密化した現場製作の木製建具を採用。ハニカムブラインドを併用している。

### ダイニング



南側に移動し明るく暖かくなったダイニングキッチン。天井の梁は梁補強のために設け、天井面で水平構面を確保した。左の壁は既存土壁の上から木小舞土塗りとし、既存土壁を生かした。

## 第39回住まいのリフォームコンクール

### ■国土交通大臣賞 講評

作品名「木の家は木で治す。土壁の家は土で治す。府中の家」

---

本作品は、木と土壁を用いた木造住宅の総合的な性能向上リフォームである。

妻の介護をきっかけに、当初はバリアフリー改修をメインに考えていた施主に対し、離れて暮らす子が伝統工法に詳しい設計者をインターネットで探し当て、将来的に子や孫世代が住み継げるよう、断熱性能や耐震性能をトータルにカバーする性能向上リフォームに発展したという。

30年前に縁戚の大工が1年かけて建てた建物は、大きな梁組と土壁によるしっかりとした造りではあったが、壁量が不足している心配があった。そこで計画にあたっては、「住宅医」でもある設計者による詳細なインスペクションが行われ、既存建物の課題を確認するとともに、施主や当時の大工のこだわりを受け止めて、伝統を受け継いだ現代の住まいにアップデートされている。

室内は車椅子生活に対応するため、建物内のバリアフリー化を進めるとともに、広い建物の1階と階段部分を断熱区画として設定することで、引き戸を開けるとすべての部屋がゆるやかにつながる一体感のある住まいが生まれている。不足していた南面間口方向の壁量を補いながら玄関の入り方を変え、ダイニングの一部を大理石張りにすることで、車椅子での出入りや清掃を容易にしている。開口部には木製建具を製作し、防犯と通風のための木製格子戸を設けるなど、木と土の温かみある優れたデザインがなされている。

なかでも、土壁による安定した室内温熱環境の効果は大きいものと評価される。一般に土壁は蓄熱や調湿効果に優れる反面、誤った断熱・気密化で内部結露が発生する恐れがあるが、ここでは外側に断熱層を設けることで防湿フィルムを省略し、さらに非定常計算でも内部結露が生じないことを確認している。既存の土壁にさらに土壁を重ねることで、安定した室内環境が得られることを各種シミュレーションで検証し、完成後も実測を行ってその効果を把握している点は、伝統工法の再評価と土壁活用のモデルとなるであろう。

予算の都合で2階は二期工事とされたが、工事箇所を絞った効率的な耐震補強が行われている。コストを踏まえた工事計画や将来を含めた住まい方の提案まで行われたとのことで、施主の信頼も厚く、満足度が高いことがうかがえる。

完成後は、親元を離れて近くの学校に通う孫が同居しており、子ども週の半分テレワークで帰宅するようになったそうで、いずれはこの家に戻ってきたいと考えるようになるなど、住み継がれる価値のある住宅になっている。

以上のように、伝統工法を用いながら、今日求められる性能とデザインを両立した本作品は、国土交通大臣賞に相応しい優れた作品である。

## 第39回住まいのリフォームコンクールの概要

1. 主催 公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター
2. 後援 国土交通省／独立行政法人 住宅金融支援機構／  
独立行政法人 都市再生機構／一般社団法人 住宅瑕疵担保責任保険協会／  
一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会
3. 協賛 公益財団法人 建築技術教育普及センター 他25団体
4. 目的 全国各地で施工された住宅リフォームの事例を募り、住まいとして優秀な事例についてリフォームの依頼主(施主)・設計者・施工者を表彰し、これを消費者や事業者に広く紹介することにより、住宅リフォームの促進とその水準の向上を図る。  
リフォーム前後がともに住宅である作品を募集する[住宅リフォーム部門]と、住宅以外の建物を住宅として再生したものや、住宅を住宅以外に用途変更した活用事例を募集する[コンバージョン部門]の2部門にて開催する。
5. 応募者要件及び対象
  - 【住宅リフォーム部門】  
応募者は、応募作品のリフォームの依頼主(施主)、設計者、施工者を原則とし、2020年7月から2022年6月までの間に、リフォーム工事が完了した住宅(国内にあるもの)を対象とする。
  - 【コンバージョン部門】  
応募者は、応募作品のリフォームの依頼主(施主)、設計者、施工者を原則とし、2020年7月から2022年6月の応募締切までの間に、これまでとは違う用途へ変更し、リフォーム工事が完了した建築物(国内にあるもの)を対象とする。
6. 応募締切 2022年6月30日
7. 応募件数 【住宅リフォーム部門】306件 【コンバージョン部門】22件
8. 入賞件数 上位賞 6点
 

国土交通大臣賞1点／(独)住宅金融支援機構理事長賞1点／  
(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞1点／  
(一社)住宅リフォーム推進協議会会長賞1点／  
(一社)住宅瑕疵担保責任保険協会会長賞1点／  
セカンドライフのためのDIYコンバージョン特別賞(分野別特別賞)1点

優秀賞	20点	合計	26点
増改築相談員奨励賞			1名
マンションリフォームマネジャー奨励賞			3名
9. 審査委員 委員長 松村秀一 東京大学大学院特任教授 他10名  
(添付資料－2参照)
10. 表彰式 令和4年10月26日(水)
11. 作品発表会 令和4年10月27日(木) 10:10～11:00  
令和4年10月28日(金) 10:10～11:00  
＜東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場)東展示棟＞(東京都江東区)  
展示会『Japan Home & Building Show 2022』講演会場D(予定)

## 審査委員会委員名簿

委員長	松村 秀一	東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻	特任教授
委員	池本 洋一	株式会社リクルート	SUUMO編集長
〃	嘉藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構	
		マンション・まちづくり支援部技術統括室長	
〃	鈴木ひとみ	建築設計工房パッソアパッソ	代表
〃	中西ヒロツグ	イン・ハウス建築計画	代表
〃	中野 淳太	東海大学 建築都市学部建築学科	准教授
〃	平野 祐子	主婦連合会	副会長
〃	丸茂みゆき	文化学園大学 造形学部建築・インテリア学科	教授
〃	森田 芳朗	東京工芸大学 工学部建築学科	教授
〃	山下 英和	国土交通省 住宅局 住宅生産課	課長
〃	須藤 哲夫	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター	専務理事

(敬称略、所属・役職は令和4年9月現在(審査時点))